
クウガ&アギトがのびハザ!!

岬下部 投花

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

クウガ&アギトがのびハザ！！

【Nコード】

N2440L

【作者名】

岬下部 投花

【あらすじ】

もしも仮面ライダーがのびハザの世界にいたら…

そんな「もしも」を題材にしたヒーローホラーアクション。

他のライダーもご希望があれば参戦予定！

a r e a 2 魔界の雷帝（前書き）

スネ「血に俺たちが大活躍!!」

ジャイ「字間違えてるぞ」

こんな駄文でよければどうぞ。

area 2 魔界の雷帝

イメージOP 明日へのキズナ（戦場のヴァルキュリア）

翔一「ふん!!はっ!!は!!」

ストームフォームに変身した翔一「アギトは、ストームハルバードでゾンビたちの頭をはねてゆく。」

翔一「これで粗方片付いたかな…」

彼の身体能力は素晴らしい。既に100体ほどいたゾンビがすべて殺害された。

翔一「じゃ、俺は探索に行きますかね。」

変身を解除した翔一はドラえもんに電話する。

翔一「もしもしドラえもん?」

ドラ「はひい」

翔一「お疲れ気味だな、生存者は?」

ドラ「見つかなかった…」

翔一「とりあえず立場入れ替わろう、きついだろう?」

ドラ「うん…」

翔一のマンションの前。

疲れたドラが目にした光景は。

ドラ「くそ、あんなに倒したのにまだ居やがる。」

ドラの周りには5、6体のゾンビが。

ドラ「いいだろう、まっすぐ戦ってやる!!」

F A - M A Sを握りしめ、ドラは突っ込んでいった。

こちらのはのび太。

.....

のび「誰も来ない……」

？2「ねえっ！」

のび「わつと、びっくりした〜大丈夫だった、聖奈さん？」

聖奈「のび太君に言われたとおり、木箱を開けたら、これ」

そう言つて聖奈はS & a m p ; W M 6 0を差し出す。

のび「よかった。弾丸は？」

聖奈「まだ17発残つてます、13発撃ちましたけど」

のび「凄い節約だ」

聖奈についての説明をちよつと。

緑川聖奈 12歳

のび太たちのかよう学校の生徒会長兼テニス部部长。

部員には何かと手を焼いているようだ。

特徴は死んでも手放さないカチューシャ。

「聖夜」という名の弟がいる。

まあこんな感じ。

のび「（ry（説明中）〜という意味なんだよ」

聖奈「そうですか…でも、あなたたちと世界を渡っていない私がなぜ…？」

のび「少しでも一人の人を、好きな人を救いたい…意地ですよ、僕の…相棒を言い負かしたんです。」

聖奈「ドラえもんさんですね。今どこに…？」

のび「…今そこでへばつてる」

聖奈が見ると、ゾンビとの戦いで体力を消耗しきつた青だぬきもとドラえもんがいた。

聖奈「あの〜大丈夫ですか？」

ドラ「うん、一応…。」

のび「聖奈さんはドラえもと役割交代。俺は学校の正門前。これでOK？」

聖奈「はい、OKです。」

二つ返事で聖奈が答える。

ドラえもんは翔一のパソコンで音楽を聴きながら体力を回復している。

ちなみに聴いてるのはマクロスFの『ライオン』だ。

ドラ「歌いてえ…」

スネ「やばいんじゃない？」

静香「やばいわね」

ジャイ「やばいな…」

3人はいつもの空地を集合場所に使っていたのだが…ゾンビに囲まれてしまった。

逃げ場所はない。

スネ「1、2、3、4、（ゾンビの数を数えてる）」

ジャイ「武器は…」

ダネルMGL 弾数4【静香】

SMAW ロケットランチャー 弾数2【ジャイアン】

M4カービン（M203 グレネードランチャー付） 弾数60

静香「十分ね」

スネ「いや…120体いる…」

ジャイ&静香「なんだってー!?!」

スネ「声大きい!!なんだよ「なんだってー」って!?!」

静香「知るか!?!」

スネ「知らずに使ったんかい!?!」

そこに翔一が現れる。

『変身!?!』

翔一「はっ!?!」

三人「「「!?!?!」」」

三人が翔一にの存在に気づく。

三人は変身した翔一にの姿に驚いたが、様子を見ることにした。

翔一「多すぎんだよ!!」

翔一は再びストームフォームに変身する。

翔一「はあああああ・・・ハアッ!!」

必殺技のハルバードスピンでゾンビをなぎ倒してゆく。

スネ「敵の数、えーと30!!」

ジャイ「うそだろ!?何なんだよあいつは!？」

静香「知能もある・・・人間？」

そんなことを言っている間に残り30体もあっさり倒される。

翔一「ふう・・・終わった・・・その土管に隠れてるやつ!!」

ジャイ「はっ、はひい!？」

翔一「俺の名前は神無月翔一。名前は？」

ジャイ「剛田...武...ジャイアンって呼んでくれ。」

スネ「骨川スネ夫...」

静香「源静香です。よろしく。」

翔一「よし解った。(変身解除)えーっとケータイケータイ...」

静香「危ない!!」

他の3人「...!!!!」

4人が見たのは、人間に高速で急降下してくるカラスだった。

カラス「キシヤアアアアアアアアアアアアアア」

翔一「稲妻よりも早く駆け抜けて・・・悲しみよりも深く息を吸う・

・

静香「翔一さん!!逃げてください!!」

翔一「時間のわからない・・・DEEP BREATH」

カラス「キシヤアアアアアアアア」

翔一「暗闇の中で・・・DEEP BREATH まばたきもなく・

・

ジャイ「翔一!!」

翔一「DEEP BREATH We need it just

focus!!!」

その言葉と共に翔一は赤いアギトへと姿を変える。

そして・・・ベルトから引き抜いた刀でカラスの体を切り裂いた。
堅いカラスのくちばしも、いとも簡単に切断される。

と同時に、カラスの柔らかい内臓と真っ赤な血が吹き出してきて翔一を血まみれにする。

ジャイ「うわ・・・」

スネ「めっちゃグロい・・・」

？（もらいますよ）

4人「「「「「!?!?!」」」」」

頭の中に直接声が響いてくる・・・

？（アギトの力!!）

その瞬間、翔一の体が燃え上がる。

翔一「ぐあああああああつ!!」

Area 3に続く

聖奈「誰も来ないな・・・聖夜!っ・・・ぽっーん」

すっかり忘れ去られてる3人（&まだ出てきてない生存者）だった。

次回予告

「そんな・・・俺の力が・・・!!」

「みんな!聖夜を守って!!」

「超変身!!」

次回 area 3 Kannon RPG

撃ち尽くせ!!神が作りし三つの力が、世界を救う!!

a r e a 2 魔界の雷帝（後書き）

この話で分かる通りサブタイトルはみんなネット上の漫画・小説・フリーゲームです。

今回も2000文字程度です。すらすら読めるように頑張りました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2440/>

クウガ&アギトがのびハザ!!

2010年11月1日01時34分発行